

2009年(平成21年)

5月21日

木曜日

日刊

産業新聞

Japan Metal Bulletin

対族品め 日金。ラ精工・生8高 料国、7、か、る、業、業、料、い

フクナガエンジ 廃PC回収に注力

データ消去とセット リ・パースと 共同事業

フクナガエンジニアリング(本社大阪府城東区、福永政弘社長)は、データ消去後の廃パソコンの回収に力を入れる。このほ

ど、磁気データ消去装置を発売した出資会社のリ・パース(本社川崎市川崎区、生田篤識社長)との共同事業で、今期、前年比50%増の3000台を回収目標としている。

両社は、廃パソコンに含まれる貴金属の回収ニーズの高まりと、企業情報の漏えいを防ぐ点に着目。データ消去をリ・パースが行い、フクナガエンジニアリングは、その後の回収・リサイクルを行うことで取扱量の増加をめざす。

今回、リ・パースが発売した装置「ERA ZER」(標準タイプ・重量10kg・価格55万円)は、垂直磁気記録方式のハードディスク駆動装置(HDD)のデータを強力な磁気により、セット後0.1

秒で完全消去できる。官庁などへの販売を促進し、今期の販売目標を240台とする。

従来のHDDは、平行磁気記録方式でデータの蓄積をしていたが、データ量の増加や処理能力の高まりを受け、数年前からは垂直磁気記録方式に変更され、データの完全消去も難しくなっていた。

パソコンの買い替え時期が近づいていることもあり、データ消去の必要性は社会的にも高まっている。

フクナガエンジニアリングは金属回収、コンテナバッグやノーパ

ンクタイヤの製造・販売をしており、リ・パースは機密データの消去装置の開発やメディアの販売などを行っている。

固定費削減策の効果を36億円、それ以外のコスト削減効果を18億円と見積もる。

電装・光部品事業は三菱自動車工業向けの高予想を前期比27%減

電装 光部品事業の収益を2010年3月期ではぼ水面レベルまで持ち上げる。同事業の通期営業利益をマイナス1億円と予想しており、09年3月期の営業赤字55億6200万円から約54億円の改善を見込む。前期中に実施した

自動車のワイヤハーネスを主体とする。今期の需要環境は全体として前期の下半期並みの低水準を見込み、売上高予想を前期比27%減

大型タワーマンシオン向け

止措置工法での施工が義務づけられる。

全

社、古河テクノマテリアルは20日、大型タワーマンシオン向け耐熱、耐圧、耐振動、耐

電